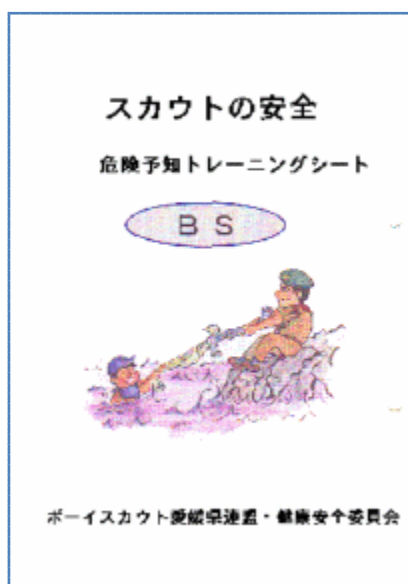


スカウトの安全について、考えましょう。

参考資料

- (1) 野外活動の安全Q&A (ボーイスカウト大阪連盟)
野外活動の安全Q&A2 (ボーイスカウト大阪連盟)
- (2) ボーイスカウト安全入門 (ボーイスカウト日本連盟)
- (3) スカウトの安全・危険予知トレーニングシート(ボーイスカウト愛媛県連盟)

スカウトの安全・危険予知トレーニングシートについて



危険予知トレーニングシートの使い方

1. 危険予知訓練の目的

作業や活動の状況のなかにひそむ危険要因とそれをひきおこす現象を小集団で話し合い、考え合い、分かり合って危険のポイントや重点実施項目を指差呼称で確認して行動する前に解決することを習慣づけるところにある。

2. 危険予知訓練の方法

危険予知訓練は実際にどのように行うのかという

と
○作業や活動の状況を描いたイラストシートを使って「どんな危険がひそんでいるか」「その危険がど

んな現象を生み出すか」をリーダーを中心にチームで活発に話し合っって危険要因を発見し

○「これが問題だ」として把握した危険要因を「解決するにはどうしたらよいか」を全員で短時間に考えあってチーム目標を決めることを反復訓練する
危険の K, 予知の Y, 訓練(トレーニング)の T をとって KYT という

3. KYT の進め方

イラストシートに描かれた、作業・活動の状況の中に「どんな危険がひそんでいるか」を、グループのメンバーで話し合う場合、ゼロ災運動ではつぎの問題解決の 4 つの段階(ラウンド)をへて段階的に進めていく。

ラウンド	問題解決の4ラウンド	危険予知の4ラウンド	危険予知訓練の進め方
1R	事実をつかむ (現状把握)	どんな危険がひそんでいるか	みんなの話し合いで、イラストの状況の中にひそむ危険要因を発見しその要因をひきおこす現象を想定する「～して～になる」「～なので～になる」というように発言していく
2R	本質・原因をさぐる(本質追究)	これが危険のポイントだ	発見した危険要因のうち、これが重要だと思われる危険を把握して、○印、さらに絞り込んで◎印をつけ、指差唱和する
3R	対策をたてる(対策樹立)	あなたならどうする	◎印をつけた重要危険を解決するにはどうしたらよいかを考え、具体的な対策をたてる
4R	行動計画をきめる(目標設定)	私たちはこうする	対策のうち重点実施項目をしばりこんで※印をつけ、それを実践するためのチーム行動目標とワンポイント指差呼称項目を設定し指差唱和し、タッチ・アンド・コールでしめくくる

なお、話し合いに入る前の準備としてつぎのことが必要である。

- 準備するもの……イラストシート、模造紙、マジック(黒板、チョーク)
- チーム編成……通常1組を5～7人とする
- 役割分担……チームリーダー(司会)、書記、必要によって発表者
- 時間配分と項目数……何ラウンドまでやるか、各ラウンドに何分かけるか、各ラウンドで何項目出すかなどをあらかじめ決めて、メンバーに知らせておく。
- ミーティングの進め方、みんなで話し合うときの話し合い方として、次の3点に注意する。
 - (1)気楽な雰囲気で行おう
 - (2)全員どんどん発言しよう
 - (3)議論はしない、させない
- ブレイン・ストーミングの4原則で、まず量を出そう
 - (1)批判禁止 よい悪いの批判をしない
 - (2)自由奔走 自由奔走に
 - (3)大量生産 何でもよいからどんどん出す
 - (4)便乗加工 他人のアイデアに便乗加工してよい量のなかのキラリと光る質の高いものを発見し合意しよう



B-1

スローガン 集会を待っている時にもケガの危険

- (1) 折りたたみ椅子が引っ張り返って、乗っているスカウトが転ぶ。
- (2) 窓に腰かけているスカウトがバランスを失って、ひっくり返る。
- (3) 廊下のスカウトが指をはさむ。
- (4) ドアが内側のスカウトの顔に当たる。
- (5) 椅子に乗っているスカウトが飛降りるときに、ボールに乗ってひっくり返る。
- (6) 椅子に乗っているスカウトが飛び降りた拍子に、座っているスカウトとぶつかる。

(7) 窓に腰掛けているスカウトのスリッパが飛んでほかのスカウトに当たる。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ 活動をしているときよりも、待っている間、休憩時間で自由にしている時などの方がケガが多いようです。
- ◆ 一般にふざけ合いがエスカレートして、ケガをするといったケースが多く見られます。
- ◆ スカウト達は楽しみな行事には、早々と集まってくるものです。リーダーは早めに行っていることも心得のひとつです。



B-2

スローガン 便利な道具類にも意外な危険性

- (1) 折りたたみ機の足が中途半端に出ています。カッチリ止まっていないと落ちてしまう。
- (2) 折りたたみ椅子のバランスがとれないと転倒する。
- (3) 机の上の画ビヨウがこぼれて、踏んでしまう。



B-3

スローガン キャンプの設営には十分気をつけて

- (1)草を刈っているスカウトのカマが前にいるスカウトの足を切ってしまう。
- (2)ナタが木の枝にあたって自分の頭に落ちる。
- (3)ナタをもっている手に手袋をしているのでスッポ抜けてスカウトに当たる。
- (4)マキ割りの台が不安定でマキが倒れて自分の足を切る。
- (5)金づちで前にいるスカウトの手をたたく。

ワンポイント・アドバイス

- ◆手袋を使ってよい作業、使っていない作業の区別

をする。

- ◆薪割りは前後はもちろん、頭上の注意を忘れずに
- ◆夢中になると回りが見えなくなることがあります。
- ◆危険な道具を使うときは特に注意が必要になります。



B-4

スローガン 整理整頓は安全確保の第一歩

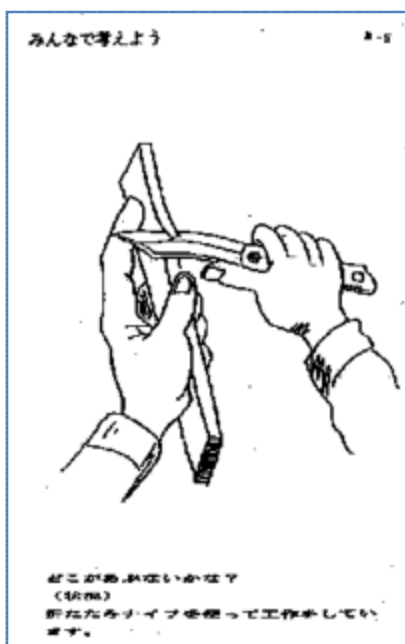
- (1)竹を持っている左手の人差し指がナイフの前に出ているので、ナイフできってしまう。(A君)
- (2)ナイフを使っているすぐ前でスカウトがのぞき込んでいるので、勢い余って傷つける。(B君とC君)
- (3)椅子がひっくり返って、机でケガをする。(B君)
- (4)キリの先などが道具箱から出ているので、スカウトが動いて突きささる。
- (5)材料が床のうえに置きっ放しになっているので、スカウトが踏んで転ぶ。
- (6)竹を持つ手が不安定なので、ケガをする。(D君)
- (7)机の上に刃を出したままのナイフが置きっ放しになっているので、ケガをする。

なっている、ケガをする。

ワンポイント・アドバイス

- ◆大人数で活動を一斉に行う場合は、注意をよく聞いていないスカウトや、夢中になりやすいスカウトが出てきます。危険行動のないように指導者は全員に眼を配るよう

にします。



B-5

スローガン ナイフを上手に使おう

- (1)右手の親指がナイフの背に当てているので、刃が折れたたまって指を傷つける。
- (2)左手の人差し指がナイフの前に出ているので、指を切る。
- (3)左手の材料の板の持ち方がよくないので、ナイフでケガをする。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ナイフはよく研いでよく切れるようにしておく。
- ◆「刃先に指を出さない」「材料をしっかり固定する」は刃物使いの一般に言えることです。
- ◆スカウト達は昔に比べて経験不足ですから、使う前に指導者が「正しい刃物の扱い方」を実際にやって見せること。

- ◆「刃物は投げない」「置きっ放しにしない」が原則です。



B-6

スローガン 野外炊事はヤケドに注意

- (1)ナタやマキ、アキカンが放置してあるので、スカウトがつまずいたり、転んだりしてケガをする。
- (2)ライスカレーの鍋の運搬で、よそ見をしていて転んで、鍋を引っ繰り返してヤケドをする。
- (3)熱い飯ごうを素手でつかんで、ヤケドをする。
- (4)炊き火の風下において、火の粉をかぶる。
- (5)炊き火の近くに燃えやすい物を置かない。

ワンポイント・アドバイス

- ◆カマドの周囲はいつも整理しておく心掛けを繰り返して、身につけさせるように指導する必要がある。

- ◆刃物は放置しないこと。
- ◆ライスカレーの運搬はしっかり気を入れてする。
- ◆飯ごうの取り扱いは軍手をはめてする。



B-7

スローガン 水泳には危険がいっぱい

- (1)水泳区域の外へ出て、沖の方に出て行って溺れる。
- (2)前方を注意しないで泳いでいるスカウトが衝突する。
- (3)浮輪のスカウトが、ひっくり返って溺れる。
- (4)ぶざけて沈められているスカウトが、息ができなくなる。
- (5)潜水しているスカウトが溺れる危険がある。

ワンポイント・アドバイス

- ◆水泳前には必ず準備体操する。
- ◆水の中では悪ふざけをしない。
- ◆海では岸と平行に泳ぐ。
- ◆決められた区域を守る。
- ◆食事直後、空腹時はおよがない。
- ◆ぶざけて溺れる真似をしない。
- ◆むやみに潜水しない。
- ◆泳げないスカウトをからかわない。
- ◆自分の泳ぎの実力を考えて、無理をしない。
- ◆指導者の注意をよく守る。



B-8

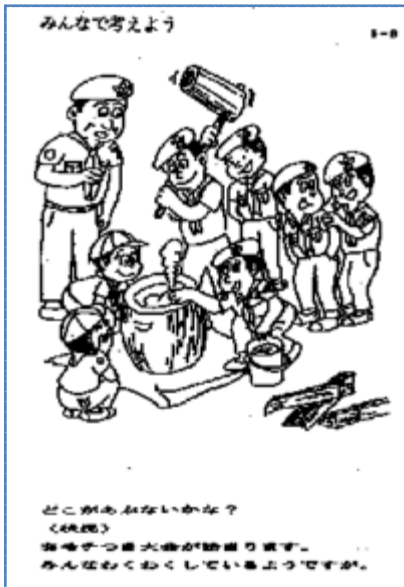
スローガン 安全に渡ろう

- (1)つり橋の上で手をポケットに入れて歩くとバランスが崩れたときに橋から落ちる。
- (2)つり橋の上から石を投げると下のスカウトに当たる。
- (3)石づたいに川を走って渡ると転ぶ。
- (4)石にコケがついていてすべって川に落ちる。
- (5)つり橋のロープが切れて川に落ちる。
- (6)川の水が急に増えて流される。

ワンポイント・アドバイス

- ◆足元の注意
- ◆川渡りはゆっくりと

- ◆つり橋の強度、腐り具合の確認
- ◆雨上がりの後の増水に注意



B-9

スローガン 楽しいモチつき大会は要注意

- (1)タイミングが狂って杵とり(おモチをこねる役)の手をつくおそれがある。
- (2)杵の狙いがはずれると臼のフチに当たって、思わぬ方向に飛んで行きます。近くで見ているスカウトの頭や顔が危ない。
- (3)ツキ手の後ろで見ているスカウトに杵が当たる。
- (4)まわりのスカウト達が興奮しているので押し合いになってツキ手に倒れかかる。

ワンポイント・アドバイス

- ◆「モチつき大会」は各家庭でやらなくなっただけに、スカウト達にとって人気のある行事のひとつですが慣れていないので特別の注意が必要です。



B-10

スローガン キャンプファイヤーのやけどに気をつけよう

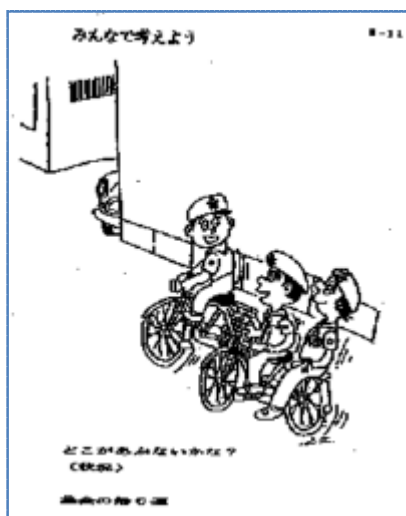
- (1)スタントをしているスカウト達が突き飛ばされて、火の方に倒れる。
- (2)バケツやマキにつまづいて転倒する。
- (3)スタントがぶざけっこになって、転んでしまう。
- (4)スタントのつもりだったのが、本気になって、転んでしまう。

ワンポイント・アドバイス

- ◆暗闇での活動だから、十分にそれぞれが注意をして行動する。

- ◆たき火場のまわりにものを置かない。
- ◆まきやバケツ、灯油などは円周の外側に整理しておこう。
- ◆スタントでは、あくまでもお芝居だということを強調して、ぶざけないように注意しよう。

う。



B - 11

スローガン 自転車乗って安全運転

- (1)二人乗りをしているスカウトが片手ハンドルで運転しているので、フラついて転倒する。
- (2)前に行く自転車のスカウトが後ろを向いて話をしているので、横道から出てくる車と衝突する。
- (3)自転車が二列に並んでいるので、とっさの時に避けられない。
- (4)二人乗りの後ろのスカウトがポケットに手を入れているので、転んだらケガが大きくなる。

ワンポイント・アドバイス

- ◆自転車の運転でその他に気の付いたことは「細い道では二人並んで自転車を走らせない」「曲がり角ではよく注意する」「片手運転や手放し運転はしない」「つながって走るときには 前の人についていっても危ないことがあるから、一人ひとりが注意する」などでした。